

令和元年度第3回全国健康保険協会滋賀支部評議会

開催日時：令和元年12月2日（月）14：00～16：00

開催場所：滋賀ビル9階会議室（伊吹の間）

出席者：安西評議員、佐倉評議員、杉江評議員、谷口評議員、田端評議員、
日爪評議員、山中評議員、山本評議員

欠席者：海老評議員（五十音順）

事務局：西田支部長、阿川部長、袴田部長、脇之菌グループ長、潟渕グループ長、
田中グループ長、角川グループ長、岡本グループ長補佐、
田中グループ長補佐、竹内グループ長補佐

議 事：1. インセンティブ制度に係る平成30年度実績について（報告）
2. 令和2年度事業計画（案）について
3. 令和2年度保険者機能強化予算（案）について

1. インセンティブ制度に係る平成30年度実績について（報告）

インセンティブ制度に係る平成30年度実績が確定したため、事務局より資料1に基づき説明を行った。

【議長】

事務局からの報告について、ご意見ご質問をお願いします。特に意見等がなければ次の議題に移らせていただきます。

《意見等なし。》

2. 令和2年度事業計画（案）について

事務局から、令和2年度事業計画（案）について、資料2に基づき説明を行った。

【議長】

事務局から説明のあった令和2年度事業計画（案）について、ご意見ご質問をお願いします。

【事業主代表】

KPIの数値を検討中という説明であったが、本部の方向性も含めて滋賀支部はどの

ように考えているのか。

(事務局)

今年度末の KPI の数値実績の予定を踏まえて、事業計画の目標を達成できるよう検討している。なお、KPI の数値目標については、まず各支部で数値を設定するが、全国で設定した数値を積み上げたものが協会けんぽ全体の目標数値となる必要がある。

【事業主代表】

協会けんぽの事業計画の体系を見ると、前年度の KPI の結果などを踏まえて事業計画や KPI の設定を計画するようになっている。今回の資料では前年度の実績の資料がなく、それらをどのように反映させて計画を立てたのかというところがわからない。次回評議会の計画案では、前年度の経過や評価が分かるような資料も用意していただきたい。

(事務局)

本日は事業計画の概略の説明で詳細は入っていない。次回の評議会で、平成 30 年度の実施結果、令和元年度の見込み、そしてそれらを踏まえた令和 2 年度の目標という形で資料を準備する。

【事業主代表】

事業計画案では重点施策が網羅的に記載されており、どれが本当の重点施策なのかが分かりにくい印象である。重点施策の項目が多すぎるのではないか。

(事務局)

重点施策については、どれ一つとして手を抜くことは出来ない。すべてを網羅しない限りは、事業を進めることができないので、多方面に渡り取り組む必要がある。重点施策をもっと絞るべきではないかというご意見は全くその通りだが、絞ることができないというのも事実であり、全ての重点施策に取り組むという計画である。

【学識経験者】

重点施策の中での優先順位は考えているのか。

(事務局)

ほぼ同じ優先順位となる。ただし、次回の評議会で令和 2 年度に主に取り組むべき課題をもう少し具体的に説明できると考えている。

【議長】

わかりました。次の 1 月の評議会でもう少し具体的な資料や説明をお願いします。他にご意見がなければ次の議題に入ります。

3. 令和 2 年度保険者機能強化予算（案）について

事務局から、令和 2 年度保険者機能強化予算（案）について、資料 3 に基づき説明を行った。

【議長】

事務局から説明のあった令和 2 年度保険者機能強化予算（案）について、ご意見ご質問をお願いします。

【事業主代表】

医療費適正化等予算の中に外国人に向けた制度周知の広報をあげている。今般、入国管理法が改正されたが、前は平成元年頃に改正されており、その時は多くの外国人が入国し大変混乱した。その当時、社会保障制度に関する情報提供をどうするのかということが大きな課題で、その時に前面に出たのは、各都道府県や市町にある国際協会であった。そのため、国際協会には 30 年間に渡るノウハウが蓄積されている。この取組については事前説明いただいた時に気になったので、県の国際協会の方に確認を取ったが、情報提供ツールなどもたくさん持っているとのことであった。そういったことから考えると、実施計画であげているフリーペーパーだけの広報ではなく、国際協会なども活用して外国人対策の事業を進めればよいと思う。

(事務局)

ありがとうございます。そういった組織にも連絡を取りながら事業を行いたいと思います。

【事業主代表】

ジェネリック医薬品の使用促進について、目標を達成するために取組みの対象を変え医師への情報提供を検討してはいかがか。自身の体験において、医師からジェネリック医薬品の処方提案を受ける場合と受けない場合がある。

【事業主代表】

医師への啓発となると難しいとは思うが、本部と協力して事業を進めていただきたい。

(事務局)

滋賀支部では、薬剤師会を通じて薬局へのジェネリックの使用促進の取組は積極的に行っているが、医師への直接的な働きかけができていない。その点については現在準備を進めている状況である。診療報酬の体系では、一般名での処方をするとう診療報酬に加算する仕組みになっている。ジェネリックの使用割合については、来年度半ばで国の目標として 80%にするとなっており、目標に向けてさらに事業を進めたいと考えている。

【学識経験者】

治験がされていないジェネリック医薬品を使うことを望ましく思わない医師もたくさんいる。処方する側の医師への情報提供も進めれば、もっと使用率が伸びると考える。

(事務局)

滋賀支部ではジェネリックの処方を分析して県内の薬局で多く使用しているジェネリック医薬品をリストにして提供する事業を全国に先駆けて行ってきた。安全で効果もあがり、問題なく処方できるお薬を情報提供していることになる。このリストは県のホームページにも掲載しており、ある程度は役に立っていると考えている。

【被保険者代表】

若年層を対象に誕生月に送付する初めての健診案内はとても良いと思う。誕生月にはいろいろな郵便が届くので、開封する機会も普段より増えると思う。提案であるが、女医がいる健診機関を案内してはどうか。女医がいる健診機関を案内していただくと健診に行きやすくなる女性も多いと思う。

(事務局)

女医が健診機関にいるという情報発信を行っている支部もあるので、滋賀支部でも是非検討したい。

【被保険者代表】

健康経営セミナーについて、単一の事業所を対象に実施しているのか。

(事務局)

保健師等を派遣して健康教室を実施している。講義の内容は生活習慣病やメンタルヘルスなど、あらかじめ設定しているものになる。

【被保険者代表】

メディアを使った広報とはどのような内容のものをどのような媒体を使用して行うことを検討しているのか。

(事務局)

内容としてはインセンティブ制度の広報をメインに行いたいと考えている。インセンティブ制度の指標の中には、健診や保健指導、ジェネリック医薬品も含まれることになる。媒体を含め企画の提案を受けメディアを選択することになるが、テレビやラジオ、WEB広告などを想定している。

【学識経験者】

重症化予防に関する予算が 37 万円と非常に少ない感じがするが、どのようなことを行うのか。

(事務局)

重症化予防に関しては、まず本部で一次勧奨の文書を送付している。その後に支部で文書勧奨と電話勧奨の二次勧奨を行っている。電話勧奨は外勤の保健師を月に 3 日間支部へ出勤させ、対象者に電話をかけている。支部において実施している事業であるため、それほど経費がかかっていないという状況である。

【学識経験者】

人工透析となると、年間に数百万円の医療費がかかることになる。もう少し経費をかけてもよいと考えるが、経費内で工夫して事業を進めるようお願いする。

【議長】

その他、ご意見がなければ審議を終了させていただきますが、よろしいでしょうか。

《その他の意見はなし。》